

平成29年1月24日

秋田県信用組合

一般社団法人環境金融研究機構(RIEF)主催:2016年サステナブルファイナンス大賞 『地域金融賞』の受賞について

秋田県信用組合(理事長 北林貞男)は、環境問題を金融の面から解決する「環境金融」の取り組みについて表彰する「サステナブルファイナンス大賞」の地域金融賞を受賞しましたので、お知らせします。東北の金融機関および信用組合としては、初の受賞となります。

1 <サステナブルファイナンス大賞>とは

環境問題を金融的手法で解決する「環境金融」の普及・啓蒙活動を展開する一般社団法人環境金融研究機構(RIEF)が、平成27年から始めた表彰制度です。今回が2回目で、対象は日本の金融市場で環境金融商品・サービス・取り組みを展開する金融機関等です。10人の審査員が6項目に基づき採点、全員のスコアを元にした定量評価と、審査員会議での定性評価を合わせた総合判断で、「最も優れた金融機関」を選びました。

2 <地域金融賞>「消滅可能性都市の信組が挑む地方創生」

地域の人口減少は続くが、自然資源を地域で活用、新たな産業を生み出す試みとして農業用水砂防ダムを利用した小水力発電、木質バイオマス発電等に取り組んでいる。

3 受賞理由

秋田県信用組合が、全国信用協同組合連合会(東京)と共同で総額2億円のファンドを設立し、水力発電システムや水車開発を手掛ける東北小水力発電(秋田市)と、小型木質バイオマス発電機製造のボルタージャパン(北秋田市)の開発を支援しており、いずれも地域資源を再生可能エネルギーに活用し、地方創生に積極的に取り組んでいる点が評価されたものです。

4 表彰式

平成29年1月23日(月)午後3時から日本プレスセンター(東京・内幸町)の日本記者クラブ会見室で表彰式を行いました。



表彰され、賞状を手にする北林貞男理事長。
右は全国信用協同組合連合会の内藤理事長。



9名の受賞者が勢ぞろいして表彰されました。
右から3人目が北林貞男理事長。